

## 事故類型の解説

「事故類型」とは、事故をまず当事者の種類(人又は車両)によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく分類したものをいう。

歩行者×車		車×車	
対面通行中	主な例 歩行者と対向から来た車の衝突	正面衝突	主な例 中央線をはみ出して来た車①と対向から来た車②の衝突
背面通行中	主な例 歩行者と後方から来た車の衝突	追突	主な例 信号待ちで停止している車①の後部へ後方から来た車②が衝突
横断中	主な例 道路を横断中の歩行者と車の衝突	出合頭	主な例 交差点を進行中の二輪車と右から来た四輪車の衝突
自転車×車		車×車	
出合頭	主な例 交差点を横断中の自転車と右(左)から来た車の衝突	左折時	主な例 交差点を直進中の二輪車と左折中の四輪車の衝突
左折時	主な例 交差点を横断中の自転車と左折して来た車の衝突	右折時	主な例 交差点を右折中の車①と対向から直進してきた二輪車②の衝突
右折時	主な例 交差点を横断中の自転車と右折して来た車の衝突	単独事故	主な例 右カーブを曲がりきれず道路外の標識へ単独で衝突

事故時の当事者の進行方向や行動(直進中、右折中など)、そして衝突地点など様々な要素で事故の種類を分類しています。

